



平成 26 年 10 月 31 日

報道各位

**2014 54th ACC CM FESTIVAL  
総務大臣賞／ACC グランプリ決定**

テレビ CM 部門	サントリーホールディングス／ペプシ NEX ZERO 桃太郎「Episode. ZERO」篇、 桃太郎「Episode. 1」篇
ラジオ CM 部門	ワコール / ブラ全般 ボクの周りのブラ事情・姉 / 同・友達
ME (*) 部門	アディダス ジャパン / サッカー日本代表ユニフォーム「輪になれ、日本。」
インタラクティブ部門	本田技研工業 / インターナビ Sound of Honda / Ayrton Senna 1989

\*ME：マーケティング・エフェクティブネス

一般社団法人全日本シーエム放送連盟（略称 ACC：東京都港区、理事長：高田 坦史）は、今年 54 回目を迎える ACC CM フェスティバル（正式名称：「2014 54th ACC CM FESTIVAL」）の贈賞式を 10 月 31 日（金）に東京・有楽町の朝日ホールで、また記念パーティを東京・内幸町の帝国ホテル＜富士の間＞で開催、受賞者・CM 関係者が集まり、盛大に挙行了しました。

この CM フェスティバルは、わが国 CM 界最大のイベントとして知られており、全応募作品 2,278 点（内訳 テレビ CM：1,455 点、ラジオ CM：535 点、ME：55 点、インタラクティブ：233 点）の中から選ばれたテレビ CM 部門、ラジオ CM 部門、マーケティング・エフェクティブネス（ME）部門、インタラクティブ部門の各賞の贈賞が行われました。

最高賞である総務大臣賞／ACC グランプリに輝いた、テレビ CM 部門：サントリーホールディングス／ペプシ NEX ZERO 桃太郎「Episode. ZERO」篇、桃太郎「Episode. 1」篇、ラジオ CM 部門：ワコール / ブラ全般 ボクの周りのブラ事情・姉 / ボクの周りのブラ事情・友達、ME 部門：アディダス ジャパン / サッカー日本代表ユニフォーム「輪になれ、日本。」、インタラクティブ部門：本田技研工業 / インターナビ Sound of Honda / Ayrton Senna 1989 には、長谷川岳総務大臣政務官から総務大臣賞を、また審査委員長（テレビ CM 部門：岡 康道審査委員長、ラジオ CM 部門：澤本 嘉光審査委員長、ME 部門：土橋代幸審査委員長、インタラクティブ部門：北風勝審査委員長）から ACC グランプリが贈賞されました。贈賞の後、長谷川岳総務大臣政務官より祝辞を頂戴し、これを受け、受賞者を代表してサントリー食品インターナショナル株式会社、執行役員食品事業本部 ブランド戦略部長の北川 廣一氏、株式会社ワコール、取締役副社長執行役員の中堤 康之氏、アディダス ジャパン株式会社、副社長 マーケティング事業本部長の Thomas Sailer 氏、株式会社 電通、三島 邦彦氏（本田技研工業株式会社 代理）より、それぞれ受賞のご挨拶がありました。

また、各部門の贈賞に先立ち、第 4 回クリエイターズ殿堂において殿堂入りを果たした故・いずみたく、故・東條忠義、堀川靖晃、故・高宮丈夫の 4 氏の贈賞も行われました。

テレビ CM 部門では、CM の企画力、アイデアのチカラに対して、制作者「個人」へエールを送るため、クリエイターズ殿堂受賞者であり、CM プランナーにとって歴史的存在である小田桐昭氏の名前を冠した



一般社団法人 全日本シーエム放送連盟

〒105-0004 港区新橋 3-1-11 長友ランディックビル 5F TEL 03-3500-3261

「小田桐昭賞」に日本スポーツ振興センター／BIG「10億円だぞ篇／こういう顔篇」の制作者である岡野草平さんに小田桐昭氏から賞が贈られました。

また、「CMにおける優秀な演技」に対して贈られる演技賞を受賞された遠藤憲一さん（麒麟ビール／麒麟チューハイビターズ、フォーシーズ／ピザーラ）、小松菜奈さん、石井杏奈さん（共にエイベックス通信放送／d ビデオ）にもご登場いただき、会場を盛り上げていただきました。

※演技賞の真木よう子さん（日本スポーツ振興センター／BIG、トヨタ自動車／TOYOTOWN）、リリー・フランキーさん（大和ハウス工業／企業広告、サッポロビール／サッポロ生ビール黒ラベル、日野自動車／デュトロ）、堤真一さん（日野自動車／デュトロ）は残念ながらご欠席です。

今回入賞した作品は、今年度 ACC CM フェスティバル入賞作品発表会として、全国で上映・公開されます。（詳細は別紙ニュースリリースをご覧ください）

以上

この件に関するお問い合わせ先  
（一社）全日本シーエム放送連盟（ACC）  
〒105-0004 東京都港区新橋3-1-11 長友ランディックビル5F  
TEL：03-3500-3261 FAX：03-3500-3263  
ホームページ <http://www.acc-cm.or.jp>  
担当：平川



※参考資料

<テレビCM 総務大臣賞/ACCグランプリ・ゴールド>

総務大臣賞/ACCグランプリ					
広告主	商品名	題名	秒	広告会社	制作会社
サントリーホールディングス	ペプシNEX ZERO	桃太郎「Episode ZERO」篇/ 桃太郎「Episode.1」篇	90/60	TUGBOAT/読売広告社	東北新社

ACCゴールド						
順位	広告主	商品名	題名	秒	広告会社	制作会社
1	全国都道府県及び20指定都市	LOT07	LOT07 話は変わる篇 120秒 金曜抽せん/ LOT07 話は変わる篇5話 30秒 金曜抽せん/ LOT07 話は変わる篇6話 30秒 C O発生中	120/30/30	TUGBOAT/電通	電通クリエイティブX
2	リクルートホールディングス	リクルートポイント	すべての人生が、素晴らしい。	120	電通	パドル
3	トヨタ自動車	ハリアー	H. H. 篇sideA/ H. H. 篇sideB/ H. H. 篇sideA+B 2画面	90/90/60	TUGBOAT/デルフィス	東北新社
4	東海テレビ放送	自社キャンペーン	特別な日篇/ ふたつの取材班篇/ 記者とカメラマン篇/ 気持ち篇/ 震災パブル篇/ 忘れないで篇	30/45/45 /30/30/30	電通 中部支社	シースリーフィルム/ Zaxx/東海テレビプロダクション
5	エイベックス通信放送	dビデオ	出会い篇/ 転校生篇/ 家篇/ 海篇/ 駅篇	30/30/30 /30/30	もり/電通	モリモリ
6	本田技研工業	インターナビ	Sound of Honda / Ayrton Senna 1989	90	電通	電通クリエイティブX /ライゾマティクス/ Qosmo/シブー
7	サントリーホールディングス	BOSS	宇宙人ジョーンズ・コンサート 篇/ 宇宙人ジョーンズ・コンビニ 篇/ 宇宙人ジョーンズ・マンション 篇/ 宇宙人ジョーンズ・黒ドレスの女 篇/ 宇宙人ジョーンズ・用具係 篇	30/30/60 /30/30	シンガタ/ワンスカイ/電通	東北新社/ギークピクチャーズ
8	大和ハウス工業	企業広告	「ここで、一緒に」初雪篇	60	TUGBOAT/電通 関西支社	ロボット
9	トヨタ自動車	TOYOTOWN	TOYOTOWN2013/ 夫の秘密篇/ となり町篇/ ガソリンスタンドの女 篇/ 郵便配達の充電篇/ ジョーンズ市民集會 篇/ 妻の仕事 篇	90/60/60 /60/60/60/60	シンガタ/ワンスカイ/トレードマーク/電通	ギークピクチャーズ



<テレビCM部門 地域賞>

地域賞/北海道				
広告主	商品名	題名	広告会社	制作会社
イーストン	いただきコッコちゃん	半額クーポンキャンペーン	電通北海道	zero
地域賞/東北				
福島テレビ	FTV@ホームCM	野菜がくれるエネルギー/ おっ父の背中/ 私の先生はこども達/ 本当につたえたいこと/ 私がお嫁に来た場所/ 避難区域支える男たち	福島テレビ	福島テレビ
地域賞/関東・甲信越・静岡				
テレビ埼玉	企業	バス/ 交代/ 戦術/ ユニホーム	ビルド・クリエイティブハウス	東北新社
地域賞/北陸・中部				
バイオテック	企業広告	自宅で変わってっく/ オフィスで変わってっく/ パーティで変わってっく	大広 名古屋支社	シースリーフィルム/ zaxx/Dee studio
地域賞/近畿				
京都府選挙管理委員会	京都府知事選挙	京都府知事選挙 THE MOVIE 予告 篇 15秒(期日前)	博報堂 関西支社	21インコーポレーション
地域賞/中国・四国				
岡山県	晴れの国おかやま県民募集	父編		山陽映画
地域賞/九州・沖縄				
大分市	大分市 観光PR	はじまり/ とり天/ 商店街/ たんご汁/ 開あじ開さば	電通九州	ティーアンドイー

※優れたCMが各地で放送され、ローカルクライアントのマーケティング・販促活動がより円滑になるよう、各地のクリエイターが相互啓発するためのツールとしてACC賞が機能するために、同賞テレビ部門に地域賞を創設。



<ラジオCM 総務大臣賞/ACCグランプリ・ゴールド>

総務大臣賞/ACCグランプリ					
広告主	商品名	題名	秒	広告会社	制作会社
ワコール	ブラ全般	ボクの周りのブラ事情/ 姉/ ボクの周りのブラ事情/ 友達	80/80	電通	エムアイティギャザリング

ACCゴールド					
広告主	商品名	題名	秒	広告会社	制作会社
サントリーほか50の協賛企業	AICHI SAFETY ACTION	総論:人数/ 朝:登校/ シートベルト:2秒/ 高齢者:聴力/ 服装:夜の色/ 不注意:自主規制	20/20/20 /20/20/20	電通 中部支社	Zaxx
本田技研工業	インターナビ	Sound of Honda / Ayrton Senna 1989	120	電通	電通クリエイティブX/ Qosmo
パナソニック	エチケッタカッター	コンニチハ!	80	電通	ビッグフェイス

<ME部門>

総務大臣賞/ACCグランプリ				
広告主	商品名	キャンペーン名	広告会社	制作会社
アディダス ジャパン	サッカー日本代表ユニフォーム	「輪になれ、日本。」	SIX/ TBWA\HAKUHODO/ 夢の稗田	東北新社

メダリスト				
広告主	商品名	キャンペーン名	広告会社	制作会社
サントリーホールディングス	ペプシNEX ZERO	ペプシNEX ZERO「Forever Challenge」キャンペーン	TUGBOAT/ 読売広告社	東北新社
ワコール	女神のヒミツ	試着室誘引大作戦「くらやみ試着」	電通	エンジンフィルム/ 電通テック
トヨタ自動車	企業	TOYOTOWN	シンガタ/ ワンスカイ/ トレードマーク/ 電通	キークビクチュアズ
ライオン	香りとデオドラントのソフラン	リニューアルキャンペーン	博報堂	AOI Pro.

<インタラクティブ部門>

総務大臣賞/ACCグランプリ				
広告主	商品名	作品名	広告会社	制作会社
本田技研工業	インターナビ	Sound of Honda / Ayrton Senna 1989	電通	電通クリエイティブX/ライ ゾマティクス/Qosmo /メタ ファー/fuzz/マーク/シブ ー



## 【今年度 ACC CM FESTIVAL 概要】

名 称 : 「2014 54th ACC CM FESTIVAL」

全国から応募された 2,278 点（内訳 テレビ CM : 1,455 点、ラジオ CM : 535 点、ME : 55 点、インタラクティブ : 233 点）の作品の中から、テレビ CM 部門・ラジオ CM 部門・ME 部門・インタラクティブ部門の総務大臣賞/ACC グランプリをはじめとする入賞作品が決まりました。また、テレビ CM 部門に「地域賞」では、7 地域からそれぞれ 1 本ずつ選出しました。

### <テレビ CM 部門>

審査対象 : 2013 年 7 月 1 日～2014 年 6 月 30 日までに一般社団法人日本民間放送連盟に加入している放送局において初放送されたテレビ CM

地域審査会 : 8 月 1 日（金）～12 日（火）に全国 7 地域で審査

全国審査会 : 9 月 1 日（月）～8 日（月）一次審査、9 月 18 日（木）、19 日（金）最終審査  
入賞作品の内訳 :

テレビ 応募本数1,455本	総務大臣賞/ACCグランプリ	1
	ACCゴールド	9
	ACCシルバー	10
	ACCブロンズ	22
	ACCファイナリスト	63

地域賞 7賞

ACC地域ファイナリスト 99本

### <ラジオ CM 部門>

審査対象 : 2013 年 7 月 1 日～2014 年 6 月 30 日までに一般社団法人日本民間放送連盟に加入している放送局において初放送されたラジオ CM

地域審査会 : 8 月 1 日（金）～12 日（火）に全国 7 地域で審査

全国審査会 : 9 月 11 日（木）一次審査、9 月 12 日（金）最終審査

入賞作品の内訳 :

ラジオ 応募本数535本	総務大臣賞/ACCグランプリ	1
	ACCゴールド	3
	ACCシルバー	4
	ACCブロンズ	12
	ACCファイナリスト	36

ACC地域ファイナリスト 23本



<ME 部門>

審査対象：2013年7月1日から2014年6月30日の期間に、一般社団法人日本民間放送連盟に加入している放送局において当該キャンペーンのCMが放送されていることが条件。

(2013年6月末以前に終了している企画は応募不可)。

審査会：9月4日(木)一次審査、9月9日(火)最終審査

入賞作品の内訳：

マーケティング・エフェクティブネス 応募本数55本	総務大臣賞/ACCグランプリ	1
	メダリスト	4
	ファイナリスト	11

<インタラクティブ部門>

審査対象：2013年4月1日～2014年6月30日の間に掲載されたインターネット広告・モバイル広告、同期間にランチもしくはリニューアルした企業・団体によるウェブサイト・モバイルサイト、同期間に公開されたウェブ・モバイル・アプリケーション、同期間に実施されたリアルイベントなど、すべてのインタラクティブ広告・広告的取り組み。

審査会：8月 オンライン審査、9月12日(金)最終審査

入賞作品の内訳：

インタラクティブ 応募本数233本	総務大臣賞/ACCグランプリ	1
	ACCゴールド	0
	ACCシルバー	4
	ACCブロンズ	3
	ACCファイナリスト	5



【2014 54th ACC CM FESTIVAL 審査員】(敬称略、五十音順)

【テレビ CM 部門】

審査委員長 岡 康道 TUGBOAT クリエイティブディレクター/CMプランナー/コピーライター

(クリエイティブディレクター/CMプランナー/コピーライター) 1956年8月15日生まれ。80年早稲田大学法学部卒。同年(株)電通入社。99年クリエイティブ・エージェンシー「TUGBOAT」を設立。NYADC会員。LONDON D&AD会員。ACCグランプリ、TCC最高賞、ADC賞、JAAAクリエイター・オブ・ザ・イヤーなど受賞多数。主な著書に、吉田望氏との共著「ブランドI、II」、小田桐昭氏との共著「CM」宣伝会議刊、麻生哲朗氏との共著「坂の記憶」SPACE SHOWER BOOKS刊、エッセイ集「アイデアの直前」河出書房新社刊、小説「夏の果て」小学館刊など。

- 審査員 小田桐昭 小田桐昭事務所 クリエイティブディレクター/イラストレーター
- 佐々木宏 シンガタ クリエイティブディレクター
- 佐藤カズー TBWA\HAKUHODO エグゼクティブクリエイティブディレクター
- 澤本嘉光 電通 エグゼクティブ・クリエイティブディレクター/CMプランナー
- 中村猪佐武 マッキンゼーエリクソン 制作本部長 エグゼクティブクリエイティブディレクター
- 永井一史 HAKUHODO DESIGN アートディレクター/クリエイティブディレクター/代表取締役社長
- 古川裕也 電通 コミュニケーション・デザイン・センター長/  
エグゼクティブ・クリエイティブディレクター
- 宮崎晋 博報堂 チーフクリエイティブオフィサー
- 山田高之 アサツー ディ・ケイ クリエイティブディレクター/CMプランナー

【ラジオ CM 部門 審査員】

審査委員長 澤本 嘉光 電通 エグゼクティブ・クリエイティブディレクター/CMプランナー

エグゼクティブクリエイティブディレクター/CMプランナー。1990年電通入社。ACC、TCCを始め、カンヌ、NYフェスティバル等数々受賞。クリエイター・オブ・ザ・イヤーは3度受賞。主な仕事：[テレビCM] ソフトバンク「白戸家」、トヨタ自動車「企業 ドラえもん」シリーズなど [映画]「ジャッジ!」原作、脚本、「犬と私の10の約束」原作、脚本 [PV]「魔弾」T.M.Revolution、「アフターダーク」ASIAN KUNG-FU GENERATION [著書]「お父さんは同級生」(幻冬舎) など [ラジオ] 2014年4月より、ラジオ番組「澤本・権八のすぐに終わりますから」パーソナリティ TOKYO FM 毎週金曜夜 8時より <http://www.tfm.co.jp/suguowa/>

- 審査員 井田万樹子 ペープロ CMプランナー
- 伊藤春香 ブロガー/作家
- 今浪祐介 オフィスクレッシェンド 構成作家
- 井村光明 博報堂 シニアクリエイティブディレクター
- 大久保佳昭 ビッグフェイス プロデューサー
- 権八成裕 シンガタ CMプランナー
- 嶋浩一郎 博報堂ケトル 編集者/クリエイティブディレクター 代表取締役社長/共同 CEO
- 遠山大輔 グランジ





直川隆久 電通関西支社 CM プランナー／コピーライター  
 中山佐知子 ランダムハウス コピーライター&ディレクター  
 西田善太 マガジンハウス BRUTUS 編集長  
 林屋創一 エフエム東京 CM プロデューサー／ディレクター  
 福本ゆみ 福本ゆみ事務所 コピーライター・ディレクター  
 三井明子 アサツー ディ・ケイ クリエイティブディレクター／コピーライター

【ME 部門 審査員】

審査委員長 土橋代幸 トヨタマーケティングジャパン 取締役コミュニケーション局 局長

トヨタマーケティングジャパン取締役 コミュニケーション局長 1984年トヨタ入社。財務部を経て90年に宣伝部へ異動。初代プリウスや企業広告を中心に手掛けた。2009年のトヨタマーケティングジャパン設立を経て、2013年取締役就任。現在に至る。

審査員 笠原幸一 オリエンタルランド マーケティング本部 副本部長 兼 マーケティング戦略室長  
 樺沢正人 NTT アド 取締役デジタルビジネス局長  
 松本道夫 ライオン 宣伝部長  
 村上欣也 明治 宣伝部長  
 木下一郎 電通 専任局長 クリエイティブ・ディレクション・センター長  
 清水 健 アサツー ディ・ケイ クリエイティブ本部長 エグゼクティブ・クリエイティブディレクター  
 田中昌宏 大広 第1 コミュニケーションデザイン局 局長  
 能登健裕 東急エージェンシー クリエイティブ局 局長 シニアクリエイティブディレクター  
 藤井 久 博報堂 クリエイティブ戦略企画室 室長

<新設> 【インタラクティブ部門】

協賛：一般社団法人 インターネット広告推進協議会 (JIAA)

審査委員長 北風勝 博報堂 エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター

クリエイティブディレクター／プランナー。2013年度まで博報堂エンゲージメントビジネスユニット (EBU) のクリエイティブ局を率い、カンヌを始め、数々の国際広告賞を受賞。海外を中心に審査員経験も多数。2014年度からは統合プランニング室のリーダーとして新領域へ。仕事におけるデジタルの比重は高まるばかりだが、趣味は書道、油絵、陶芸とアナログを志向。

審査員 角田陽一郎 TBS テレビ プロデューサー  
 佐々木康晴 電通 専任局長 デジタル・クリエイティブ・センター長  
 菅野 薫 電通 クリエイティブディレクター/クリエイティブ・テクノロジスト  
 須田和博 博報堂 シニアクリエイティブディレクター  
 高野文隆 アサツー ディ・ケイ コミュニケーション・アーキテクト/クリエイティブ・ディレクター  
 次田寿生 パナソニック ブランドコミュニケーション本部 グローバルコミュニケーショングループ  
 デジタルコミュニケーションセンター コンテンツチーム チームリーダー



中村洋基 PARTY Creative Director / Founder  
福田敏也 777 Interactive (トリプルセブン・インタラクティブ) 代表取締役  
本間充 花王 デジタルマーケティングセンター デジタルトレード室長  
真鍋大度 Rhizomatiks (ライゾマティクス) 取締役

**【審査講評 テレビCM部門】** 審査委員長 岡 康道 氏

今年度の審査基準は「審査員が嫉妬した CM」と設定しました。制作者が嫉妬する対象は幾つかあります。

- \*自分が思いつかなかったアイデアへ。
- \*その企画が了承されるクライアントとの関係性へ。
- \*チームとして、プロダクションワークの完成度へ。
- \*SNS などによって拡散された今日性へ。
- \*恵まれた制作費そのものへ。などなど----

思えば、我々は嫉妬の中で生きていようなものです。なんと女々しい仕事なのでしょう。しかし、感情的だからこそ、ジェラシーはエネルギーや集中力にカタチを変えるのかもしれませんが。「嫉妬」を「投票」へと、カタチを変えてみました。パラドキシカルな行動を通して、2014年の日本のCMのリーダー的作品があぶり出されました。

受賞作品は例年より多様性に満ち、広告手法の殆どを見渡すことが出来ます。

経験したことのない充実した審査は、私が嫉妬する9人の審査員の見識の高さに依ります。ただ、グランプリ作品が、自分が関わった仕事になったことが、委員長として画竜点睛を欠いたようにも思えるのです。

**【審査講評 ラジオCM部門】** 審査委員長 澤本 嘉光 氏

今年のラジオはワコールの2連覇という結果だった。

嬉しいのは、去年のグランプリをきっかけにワコールという会社がラジオの優秀作常連になった事だ。

1つきっかけがあれば、どの会社も、どの制作者もいきなり優秀作を作れる。

そんな魅力がラジオにはある。

巨額な投資が必要な訳でもない。アイデアの純粋な競い合いだ。

また次回、こんな急な優秀作に出会いたいと心から思う。

そして、その受賞作は、文字としてだけではなく、きちんと音声として聞いてもらえるようにする、それも相変わらず僕の責任だと思っている。

なので、みなさん、今年の受賞作、ぜひACCのwebで、そして紹介するラジオ番組で聞いてください。

放送局の皆さん、もし、番組で紹介してくださる方がいらしたら、審査員、どこでも伺います。お声がけください！



**【審査講評 マーケティング・エフェクティブネス部門】** 審査委員長 土橋代幸氏

今年「一番効いたCM」を誉めようと審査させていただいた。  
企業の立場からは、最も嬉しい賞とも言える。

審査員は私も含め企業の宣伝責任者 5 名とクリエイター5 名という  
面白い構成で、仕事の経験上どれだけ紛糾するか楽しみにしていたが  
意外と順調に審査が進められた。普段の広告づくりも企業側と  
クリエイター側がしっかりと目標や評価基準を握っていれば  
ブレずに良いマーケティングができるというのが改めて確認できた。

マーケティング環境は、SNSの普及もあり急激に変化。  
消費者自ら情報を発信する状況下では、単に関心を持ってもらうこと以上に、  
強烈に共感してもらい他の人に薦めたくなるような商品やサービスだけが  
生き残っていく厳しい環境になってきている。

その中で、今回の入賞作品はどれもその条件をクリアしたものばかり。  
とりわけ、グランプリのアディダスジャパン日本代表ユニフォーム  
キャンペーンは、「スポーツ観戦をスポーツ参戦へ」昇華させ、  
応援ムーブメントを起こすことで驚異的な販売成果も実現した。  
日本の元気と企業の元気を両立した点も素晴らしく、近年を代表する  
作品として評価した。

**【審査講評 インタラクティブ部門】** 審査委員長 北風勝 氏

ACC インタラクティブ部門（あるいは ACC その他全部部門！）が誕生しました。  
審査は予想をはるかに超えて刺激的なものでした。これは通るだろうと予想していたエントリーが  
早々と姿を消し、こんなのあり？という仕事がどんどん浮上してくる。事前審査の順位は入れ替わり、  
ブロンズ、シルバーと並んでいく。ところが、ゴールドで突如、難航……なかなか手があがらない。

（いやー、審査ってホント刺激的ですねwww）

じっくりとファイナリストを見てください、今までになかったものを発見しようという気概が伝わる  
でしょう。ゴールドが 1 本もないことを見れば、そう簡単に褒めてたまるかという意地も見える  
でしょう。

応募総数 233 本。新部門誕生の興奮とカオスの中で、ただひとつ「ゴールドの壁」を悠々と突き破り、  
一番高い星をつかんだのは、“Sound of Honda”。デジタルテクノロジーを起点にアイデアを積み  
重ねて、世界中の人々の心をゆさぶったエモーショナルな仕事です。是も非もあわせて議論百出しま  
しましたが、「これが一番クリエイティブの未来を指し示している」という意見に反論はありません  
でした。

以上